

10月20日(火曜日)「主の祈り(6)」

【新改訳 2017】

ルカ 11.4

「私たちの罪をお赦してください。私たちも私たちに負い目のあ
る者をみな赦します。」

ここでの「罪」は複数形です。実際のいろいろな罪です。「負
い目」はもろもろの借り、なすべきなのになさないことです。

この第五の願いは、一般に「我らに罪を犯すものを、我らが
ゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ」という訳で覚えら
れています。この訳では、自分たちが他の人を赦したことが条
件か前提のように誤解されやすいため、最近は変えられてい
ます。

罪の赦しの条件は、イエス・キリストの十字架の贖罪による以
外はありません。同時に、自分が神に一方的な恵みによる罪の
赦しを求めていながら、他人を赦さないでいることはできな
いことに気づいて、赦すことを約束し、実行することを祈るの
です。ぜひ実行しましょう。「赦す(赦される)」ということはす
ばらしいことです。人を救い、生まれ変わらせます。

～祈り～

主よ。あなたに罪の赦しをいただき、多くの兄弟からも赦していただいていますことを心から感謝します。それでありながら、人を赦すよりも責めやすい者であることをおゆるし下さい。

【学びのために】

ルター「われわれはこの祈りにおいて、天の父がわれわれの罪に目をとめられないように、またこの罪のゆえに、このような願いを拒まれないように願うのです。……このようにわれわれとしてもまた、われわれに罪を犯す者を、心からゆるし、喜んで親切にしたいものです」。